

## 2【四半期財務書類】

### (1)【四半期連結財務諸表】

#### ①【四半期連結貸借対照表】

		前連結会計年度 2022年12月31日 (単位：千米ドル)	前連結会計年度 2022年12月31日 (単位：百万円)	当第1四半期 連結会計期間末 2023年3月31日 (単位：千米ドル)	当第1四半期 連結会計期間末 2023年3月31日 (単位：百万円)
資産の部					
流動資産					
現金及び預金		32,752	4,373	1,199	160
売掛金	※1	408	54	487	65
未収入金		30	4	46	6
その他		308	41	427	57
流動資産合計		33,497	4,473	2,159	288
固定資産					
有形固定資産					
建物及び構築物		433	58	437	58
減価償却累計額		△ 148	△ 20	△ 187	△ 25
建物及び構築物（純額）		285	38	249	33
工具、器具及び備品		229	31	230	31
減価償却累計額		△ 122	△ 16	△ 137	△ 18
工具、器具及び備品（純額）		107	14	93	12
有形固定資産合計		392	52	342	46
投資その他の資産					
関係会社株式		10,077	1,346	10,111	1,350
投資その他の資産合計	※1	10,077	1,346	10,111	1,350
固定資産合計		10,468	1,398	10,453	1,396
資産合計		43,966	5,871	12,613	1,684

	前連結会計年度 2022年12月31日 (単位：千米ドル)	前連結会計年度 2022年12月31日 (単位：百万円)	当第1四半期 連結会計期間末 2023年3月31日 (単位：千米ドル)	当第1四半期 連結会計期間末 2023年3月31日 (単位：百万円)
負債の部				
流動負債				
買掛金	73	10	60	8
短期借入金	26,077	3,482	430	57
未払法人税	5	1	6	1
未払金	12,569	1,678	9,846	1,315
未払費用	1,022	137	725	97
前受収益	-	-	34	5
その他	1,973	264	183	24
流動負債合計	41,719	5,571	11,284	1,507
固定負債				
長期借入金	727	97	740	99
その他	142	19	104	14
固定負債合計	868	116	844	113
負債合計	42,587	5,687	12,128	1,619
純資産の部				
株主資本				
資本金	97	13	97	13
資本剰余金	471,528	62,963	471,528	62,963
利益剰余金	△ 435,468	△ 58,148	△ 436,258	△ 58,254
株主資本合計	36,157	4,828	35,367	4,723
その他の包括利益累計額				
為替換算調整勘定	△ 34,778	△ 4,644	△ 34,882	△ 4,658
その他の包括利益累計額合計	△ 34,778	△ 4,644	△ 34,882	△ 4,658
新株予約権	-	-	-	-
非支配株主持分	-	-	-	-
純資産合計	1,379	184	485	65
負債純資産合計	43,966	5,871	12,613	1,684

②【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

	前第1四半期連結累計期間 自 2022年1月1日 至 2022年3月31日 (単位：千米ドル)	前第1四半期連結累計期間 自 2022年1月1日 至 2022年3月31日 (単位：百万円)	当第1四半期連結累計期間 自 2023年1月1日 至 2023年3月31日 (単位：千米ドル)	当第1四半期連結累計期間 自 2023年1月1日 至 2023年3月31日 (単位：百万円)
売上高	557	74	604	81
売上原価	358	48	353	47
売上総利益	199	27	251	34
販売費及び一般管理費				
役員報酬	100	13	100	13
給料及び手当	107	14	121	16
広告宣伝費	2	0	3	0
減価償却費	52	7	44	6
支払手数料	346	46	440	59
地代家賃	16	2	19	3
その他	120	16	136	18
販売費及び一般管理費合計	742	99	863	115
営業損失 (△)	△ 542	△ 72	△ 612	△ 82
営業外収益				
受取利息及び配当金	0	0	7	1
持分法による投資利益	-	-	24	3
その他	9	1	-	-
営業外収益合計	9	1	31	4
営業外費用				
支払利息	6	1	126	17
為替差損	12	2	82	11
持分法による投資損失	3	0	-	-
営業外費用合計	21	3	209	28
経常損失 (△)	△ 554	△ 74	△ 789	△ 105
税金等調整前四半期純損失 (△)	△ 554	△ 74	△ 789	△ 105
法人税、住民税及び事業税	1	0	1	0
法人税等合計	1	0	1	0
四半期純損失 (△)	△ 554	△ 74	△ 790	△ 105
親会社株主に帰属する四半期純損失 (△)	△ 554	△ 74	△ 790	△ 105

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

	前第1四半期連結累計期間 自 2022年1月1日 至 2022年3月31日 (単位：千米ドル)	前第1四半期連結累計期間 自 2022年1月1日 至 2022年3月31日 (単位：百万円)	当第1四半期連結累計期間 自 2023年1月1日 至 2023年3月31日 (単位：千米ドル)	当第1四半期連結累計期間 自 2023年1月1日 至 2023年3月31日 (単位：百万円)
四半期純損失（△）	△ 554	△ 74	△ 790	△ 105
その他の包括利益				
為替換算調整勘定	△ 6	△ 1	△ 114	△ 15
持分法適用会社に対する持分相当額	5	1	10	1
その他の包括利益合計	△ 1	△ 0	△ 104	△ 14
四半期包括利益	△ 555	△ 74	△ 894	△ 119
(内訳)				
親会社株主に係る四半期包括利益	△ 555	△ 74	△ 894	△ 119
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-	-	-

【注記事項】

（継続企業の前提に関する事項）

当社グループは、前連結会計年度まで継続して重要な営業損失、親会社株主に帰属する当期純損失を計上し、当第1四半期連結累計期間においても引き続き、営業損失612千米ドル(82百万円)、及び親会社株主に帰属する四半期純損失790千米ドル(105百万円)を計上しております。これらのように当社グループは継続して重要な営業損失、親会社株主に帰属する当期純損失を計上している状況にあり、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社グループは、これらの状況を解消するために、引き続き既存事業の拡大に注力しつつ、新規事業への投資を開始しております。具体的には、投資物件が安定した賃貸収入を生み出し、不動産価値に潜在的なキャピタルゲインを提供できることを考慮の上、投資目的で不動産を取得する予定です。また、当社グループの成長、経営安定化及び企業価値増大を目指し、収益力、将来性を具備する企業・事業の取得等戦略的投資活動を今後も積極的に推進していく予定であり、当該投資事業を通して、新しい収益源を獲得できるよう努めて参ります。また、これらの事業を確実に実行するための資金調達も検討してまいります。

しかしながら、これらの対応策は、計画実行途上ないし計画途上にあることから、現時点においては継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表に反映しておりません。

（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更）

（1）連結の範囲の重要な変更

該当事項はありません。

（追加情報）

（四半期財務諸表の円換算）

「円」で表示されている金額は、四半期財務諸表等規則第88条の規定に準じて、2023年3月31日現在の株式会社三菱UFJ銀行における対顧客電信売買相場の仲値、1米ドル＝133.53円で換算された金額であります。なお、当該円換算額は、単に表示上の便宜を目的としており、米ドルで表示された金額が上記の相場で実際に円に換算されることを意味するものではありません。

（四半期連結貸借対照表関係）

（単位：千米ドル、括弧内は百万円）

前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
※1 債権額は貸倒引当金と相殺して表示しております。 流動資産に設定された貸倒引当金の金額	※1 債権額は貸倒引当金と相殺して表示しております。 流動資産に設定された貸倒引当金の金額
10	10
(1)	(1)
投資その他の資産に設定された貸倒引当金の金額	投資その他の資産に設定された貸倒引当金の金額
-	-
(-)	(-)

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は次のとおりであります。

(単位：千米ドル、括弧内は百万円)

前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	
減価償却費	56 (7)	減価償却費	51 (7)
のれんの償却額	- (-)	のれんの償却額	- (-)

(株主資本等関係)

I 前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)

株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報
- 2.

(単位：千米ドル、括弧内は百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ライセンシ ング事業	メッセー ジ ング事業	その他 の事業	合計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	- (-)	557 (74)	- (-)	557 (74)	- (-)	557 (74)
その他の収益	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
外部顧客への売上高	- (-)	557 (74)	- (-)	557 (74)	- (-)	557 (74)
セグメント間の内部売上高又は振替高	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
合計	- (-)	557 (74)	- (-)	557 (74)	- (-)	557 (74)
セグメント利益又は損失(△)	△3 (△0)	55 (7)	△606 (△81)	△554 (△74)	- (-)	△554 (△74)

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の親会社株主に帰属する四半期純利益又は損失(△)と一致しております。

2. 報告セグメントの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千米ドル、括弧内は百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ライセンシ ング事業	メッセー ジ ング事業	その他 の事業	合計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	- (-)	604 (81)	- (-)	604 (81)	- (-)	604 (81)
その他の収益	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
外部顧客への売上高	- (-)	604 (81)	- (-)	604 (81)	- (-)	604 (81)
セグメント間の内部売上高又は振替高	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
合計	- (-)	604 (81)	- (-)	604 (81)	- (-)	604 (81)
セグメント利益又は損失(△)	△17 (△2)	49 (6)	△822 (△110)	△790 (△105)	- (-)	△790 (△105)

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の親会社株主に帰属する四半期純利益又は損失(△)と一致しております。

2. 報告セグメントの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項 (セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

(単位：米ドル、括弧内は円)

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり四半期純損失 (△)	△0.01 (△1.34)	△0.01 (△1.34)

(注) 1. 1株当たり四半期純損失 (△) 及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

(単位：千米ドル、括弧内は百万円)

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
親会社株主に帰属する四半期純損失 (△)	△554 (△74)	△790 (△105)
普通株主に帰属しない純損失 (△)	- (-)	- (-)
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純損失 (△)	△554 (△74)	△790 (△105)
普通株式及び優先株式の期中平均株式数 (株)	60,560,057.79	75,560,057.79
普通株式	60,559,957.79	60,559,957.79
優先株式	100.00	100.00
転換劣後株式	-	15,000,000.00
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

2 優先株式は剰余金の配当請求権について普通株式と同等の権利を有しているため、普通株式と同等の株式としております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

該当事項はありません。